

ふるさとの みなさんへ⁽⁴⁾



横田由三さん
(東京都在住・81歳=旭日区出身)

青葉のさわやかな今日このごろ普代の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は31年に歯科大学を卒業して35年に世田谷区に開業し現在に至っています。普代の家は嵯峨商店の前にあり昭和6年に父(宇平商店)が建築され私の代になりましたが、76年前の建物ですので古くなり普代の皆様にはご迷惑をかけていることと思います。普代31年、世田谷50年在住で81歳となりました。

子どものころは夏になると毎日海で泳いだり、先輩に連れられて船でアワビ、カニ、ウニなどをとり、冬になると自宅裏の田んぼでスケートで遊んだ思い出があります。歳を過ぎていきますと同級生の優秀な岩澤義雄君と熊谷儀一君が亡くなり、さみしく感じております。8月のお盆にはふるさと普代に帰省する予定です。職業(歯科)の方も今までは役員などを歴任し現在では引退し、仕事の方は息子と2人で無事に働いています。

6月14日の朝発生した、岩手・宮城内陸地震にはいろいろご心配なさったことと思います。岩手の南、宮城の北の方には大きな地震で被害にあったようですが、普代村は被害もなく安心しています。日本は地震国でありますので、今後もこのようなことが起きることと思いますのでご注意ください。終わりにあたりふるさと普代村の皆さまのご健勝を心から祈念致します。

※このコーナーでは村外に暮らす村出身者の皆さんを紹介します。

「本当にいろいろ稼いだがー」



森田幸雄さん (中央区・79歳)

★: 岩泉の農業学校を卒業するとき、教員や事務屋を勧められましたが、戦後の食糧難の時代だったが、稼業の半農半漁の道に進みました。たまたま農業をやつたり、その合間に製材所で稼いだり、夫婦でシイタケも栽培したり、定置網もやつたり、これまで本当にいろいろ稼いだが。★: 皆さんのおがげで岩手北部農業共済組合の理事もやらせてもらつて、今思えばそのどぎうの人の出会い、つながりは錢金に代えられない財産になつたが。★: 今は田んぼの管理をしたり、孫が日々成長する姿を見ながら会話をするのを楽しみに暮らしてんが。

文芸の世界

川柳愛好会
6月例会作品

- 遠き日の夢は大きく見えていた
遠い友たまの電話が長くなり
空っぽになれば浮き世の裏が見え
空っぽな心を覗く隙き間風
空力(かわす)を躲す老婆の花畠
- 娘の未来信じた過去の遠い夢
永田町圧力斗争ひしめきと
遠き日の夢は大きく見えていた
空っぽの人生だったのに元気
空っぽの人生だったのに元気
- 峰はまゆり
深度(ひだい) 汀女
嵯峨(さが) 待女
三上(みかみ) 翠香
北野(きたの) 多佳子
加差野(かさの) 静浪

4年前に結婚し2人の子どもに恵まれたのぞみさんと大輔さん。今は大輔さんの実家の久慈市で、ご両親と一緒に暮らしているというです。

2人の出会いは大輔さんが働いていたホテルにのぞみさんが就職してきたこと。「事前に履歴書を見ていました」と大輔さん。「いきなり食事に誘つんですよ。最初は断つたんですけど…」というのぞみさんですが、結局は八戸市(青森県)に食事に行って

ましたので、即行で声を掛けました」と大輔さん。「いきなり食事に誘つんですよ。最初は断つたんですけど…」というのぞみさんですが、結局は八戸市(青森県)に食事に行つて

付合い始めたそうです。
そんなのぞみさんには心配があるそうです。それは「大輔さんが大の釣り好き」ということ。「前に、太田名部漁港でテトラポットの間から海に落ちたんですよ。携帯電話の電波が届かない場所だと心配で」とのぞみさんは小さくなっていました。

「家事に子育てに頑張つてくれて感謝です」と大輔さん

、「(大輔さんが作る)塩加減が微妙な焼き魚が好きです」とのぞみさん。何気ないことで

「もう、海に落ちないでね」

MY FRIEND

友達の友達は…みんな友達。そんな思いを込めて自分の友人知人をリレーで紹介するマイフレンドコーナー。今月は、白井出身で久慈市在住の川戸(旧姓日向)のぞみさん(28)です。



左から長女の玲奈ちゃん(3)、だんなさんの大輔さん(27)、のぞみさん本人、長男の慶大君(3ヶ月)

も、お互いが感謝し合う気持ちって大切ですね。

Q & A

「むし歯から守れ」 3年 内野沢美里さん



細かい部分を色ぬりしたり、字を塗るのが難しかったです。ぱい菌がうまく描けたので良かったです。



「油断大敵」 3年 太田綾華さん



油断大敵の文字のレタリングと背景はうまくできました。背景は微妙にボカしたりして工夫しました。

ほくとわたじの 作品展示の 世界

普代中 ポスター

